《沖縄協同病院の理念》

○人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。

○地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。

はいさい

《沖縄協同病院医師研修理念》

○基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

医療従事者向け地域講演会 Part2

9/30 に心不全をテーマとした医療従事者向け地域講演会に参加しました。心不全発症後は増悪を繰り返すと不可逆的に心機能が悪くなることからステージ A・B の段階で発症予防に繋がる服薬指導スキルが求められると感じました。またステージ C・D の患者様に対しては薬剤視点だけではなく多職種と共に連携し生活背景も考慮した支援が重要であると思いました。腎機能が低下した心不全患者様への治療の選択肢に間欠透析だけではなく腹膜透析があることは QOL の維持・向上に繋がると感じました。薬剤師として今まで使用していた薬剤の推奨度が変わったり、新たな薬剤が追加されたりなど情報の更新が早いため苦労しています。しかし、今回の講演会で心不全治療の基本的なことや今まで携わった症例を振り返ることができ、改めてモチベーションアップに繋がる貴重な講演となりました。

薬局　薬剤師　金城 拓也



臍帯血保管を始めました

当院産婦人科では、臍帯血保管を始めました。

臍帯（へその緒）や臍帯血には、さまざまな細胞のもととなる幹細胞が含まれています。幹細胞は、病気の治療や再生医療への活用が期待され、研究が進められています。

臍帯血を用いた脳性麻痺の研究では、運動機能や脳の神経回路の改善が報告されています。また、自閉スペクトラム症についても、臍帯血の投与によってコミュニケーション能力や社会性の向上が期待され、研究が進められています。

保管した臍帯血は、将来の医療に役立つ可能性があり、条件によっては生まれたお子さんだけでなく、ごきょうだいにも利用できる場合があります。



赤ちゃんを迎えるまでの日々は、喜びとともに不安を感じることもあるでしょう。「この子のために、今できることは何だろう」と考えるご家族もいらっしゃるかもしれません。

臍帯血は出産時にしか採取できない、かけがえのないものです。保管の内容や費用、利用条件などをご理解いただき、ご家族で検討してみませんか。

詳しくは、沖縄協同病院のホームページをご覧ください。

4階病棟南　師長　辺土名 ひとみ

はいさい 11月号 感想をおきかせください

病院の活動状況 <2026年9月度>

・外来一日平均患者数：239人（前年同月比 +5人）　・入院一日平均患者数：230人（前年同月比 −28人）

・組合員利用分量(率)：59.3%（前年同月比 −5.6%）

結　核

医学コラム 236 総合内科（感染症）より



沖田総司や高杉晋作といった幕末の志士、正岡子規や樋口一葉ら文豪の名前から「結核」を連想する方も多いのではないでしょうか。彼らが暮らした当時の日本は結核の高蔓延国でした。「不治の病」「亡国病」と恐れられ、1950年まで日本人の死因第1位が結核でした。その後、治療薬の発見やBCGワクチンの普及、生活水準の向上により患者数は大幅に減少し、2021年には人口10万人あたりの罹患率が9・2人となり、日本もようやく「低蔓延国」の仲間入りを果たしました。

しかし、結核は「過去の病気」とはまだ言えません。2025年の新規患者数は9899人、死亡者は1474人に上ります。減少傾向にあるとはいえ、毎年1万人近くの新規感染者がおり、1500人近くの方がお亡くなりになっているという実情があります。特に沖縄県は罹患率が9・4（全国8・0、2025年）と全国的にも高めの水準です。

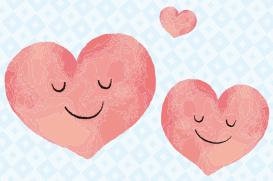
現在、新規患者の約7割を60歳以上が占めています。かつて高~中蔓延国だった頃に感染し、加齢などで免疫力が下がったことで、数十年を経て発病するケースが多いためです。

結核は早期診断、早期治療が非常に重要です。2週間以上続く咳、痰（血痰）、微熱に加えて、倦怠感、体重減少、食欲低下、寝汗等の症状あれば、早めに受診してください。また、典型症状がなく、胸部X線検査で偶然発見される場合もありますので、定期的に健診を受けることも大切です。

総合内科（感染症）　石井 隆弘

◎「はいさい」は沖縄協同病院のホームページ　病院広報誌「はいさい」欄にも掲載しています。

2026 つながりづくり強化月間



沖縄協同病院は10/1(木)に強化月間スタート集会をおこないました。参加者は約50名。開会あいさつで伊泊病院長から強化月間スタートに際して激励があり、職員による理事会アピール文の読み上げ、最後に職員みんなで頑張ろうと行動提起をおこないました。

沖縄協同病院は沖縄医療生協のなかで一番大きな病院であり、目標値も一番大きい事業所ですが、職員みんなで月間を盛り上げていこうと確認しました。

月間中は生協コーナーでの呼びかけ、統一行動日の設定で外来患者への声掛けなどを計画しています。物価高など相次ぎ非常に厳しい社会情勢が続いていますが、困難を職員みんなで知恵を出し合いながら頑張ります。

事務次長　知念 毅

手指衛生キャンペーン

10月15日は、ユニセフ(国際連合児童基金)が定めた「世界手洗いの日」です。当院では、手洗いや手指消毒の大切さを改めて知っていただく機会として、10月1日から院内で手指衛生キャンペーンを実施しています。

キャンペーンでは、病院長をはじめとする管理部職員が手指衛生を実践する姿をポスターにし、院内に掲示しました。また、感染対策に関する「川柳」を朝会や各病棟で合唱し、楽しみながら手指衛生について考える機会を設けています。

手指衛生は、感染症から患者さんやご家族、職員を守るための基本的な対策の一つです。これからも手指衛生を推進し、皆さまに安心して過ごしていただける環境づくりに取り組んでいきます。

現在、インフルエンザが流行しています。感染予防を、あなたの手から始めていきましょう。

医療安全管理室　看護師　松本 幸作



こんにちは赤ちゃん

当院で出生したBabyの写真です



屋宜陽向ちゃん



仲本姫音ちゃん

Instagramやってます
@okikyo.sanka

私の部署の好いところ

診療情報管理室



こんにちは、私たちは医師事務作業補助者です。

今回は、私たちの部署についてご紹介します。

医師事務は、医師の外来診療の補助・病棟での面談記録、診断書や紹介状などの文書作成を行い、医師の業務負担を軽減できるよう、日々一生懸命がんばっています＞＜

私たち医師事務は、仕事ではしっかり集中し、イベントごとではみんなで楽しく盛り上がるなど、オンとオフの切り替えを大切にしています！

旅行や推し活など、それぞれの趣味を楽しんでいる職員も多く、メリハリをつけながら楽しく働いてます！

これからも一つ一つの業務を丁寧に行い、医師の診療を支えるとともに患者さんが安心して受診できる環境づくりに努めていきます。

診療情報管理室(嘉納、當山、平識、屋宜)

虹の箱より

＜お礼＞

母が大変お世話になりました。

5階、8階の先生をはじめ全スタッフの方々にとても良くしていただき感謝しております。

母も安心してこちらで時間を過ごせていました。

病院で働くということはすごく大変だと思いますが、素晴らしいケア・対応を本当にありがとうございます。

まじゅん!スージガー 11 源為朝の豪快な伝説が残される巨岩

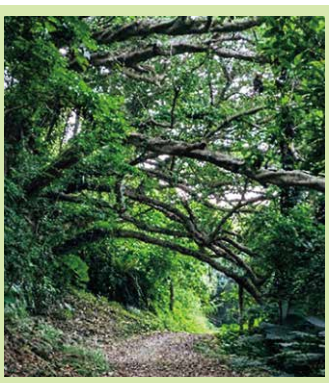
ワカリジー・為朝岩：浦添市前田

ゆいレール前田駅の後方に、お寺の鐘のような奇妙な出っ張りがあることに気づいた方もいるだろう。人が造ったモノだろうかと気になっていたので、浦添グスクから続く森の遊歩道に行ってみた。そこに待っていたのは、みごとな巨岩である。

岩の名前は「ワカリジー」(別れ岩)「ハナリジー」(離れ岩)とも呼ばれる。グスクからみて太陽が昇る位置にあり、神聖な場所として地元に愛されてきた。浦添市も毎年秋口には、ライトアップで繁栄・安泰の願いを込める。

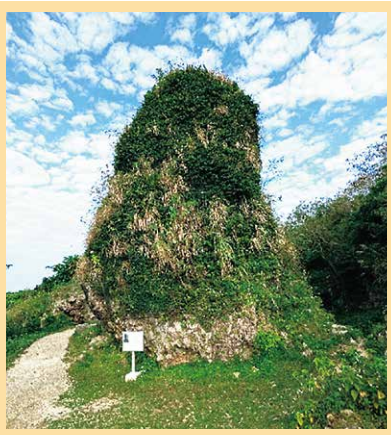
「ワカリジー」は別名「為朝岩」とも呼ばれている。900年前、源為朝が浦添に居を構えたころ、この岩の上から弓で矢を放った。その矢は北は牧港村の港に、南は安里村(那覇市)の畑まで届いたという。4～5Kmは飛んでいるからものすごい。明治時代、校長先生が名付けた通称「為朝岩」は、豪快な伝説にぴったりなイメージだ。







前田駅の左上のでっぱり(左)浦添グスク南の森を進む(中)森を抜けると、為朝岩の巨大な姿に圧倒される(右)



源為朝はこの岩の上で弓を放った

戦前、この岩はもっと高く尖がっていた。米軍は「ニードルロック」と名付け、砲撃で先端を吹き飛ばした。ここは映画「ハクソーリッジ」の激戦地でもある。歴史の荒波にもまれても「ワカリジー」は何事もなかったように今もそびえ立っている。

さんぽ人　宮城 じゅん

◎「はいさい」は沖縄協同病院のホームページ　病院広報誌「はいさい」欄にも掲載しています。